

京都府津波浸水想定検討委員会の開催結果概要について

1 開催日時 平成27年5月14日（木）午前10時55分～午後0時40分

2 場 所 ホテルルビノ京都堀川 地階「平安」

3 出席委員 林委員長、澤田委員、井合委員、牧委員、鈴木委員

4 結果概要

(1) 津波浸水想定設定に向けた手順及びスケジュール（資料1）

- ・ 手順及びスケジュールについて了承

(2) 「発生が想定される津波の整理」について（資料2）

- ・ 日本海における大規模地震に関する調査検討会報告の60断層253ケースから、計算対象の候補として6断層12ケースに絞り込むことは了承
- ・ F20やF24等の断層について、マグニチュードを高く設定してシミュレーションを行ってはどうか。
- ・ 京都府に大きな影響があると考えられるF49断層について、近隣にF48断層があり、これら2つの断層が連動して動くことも考慮する必要がある。連動した場合の浸水シミュレーションを実施するかは次回の委員会で検討を行うので、沿岸の津波高の試算を行うこと。
- ・ 各断層について、国の検討会で逆断層・横ずれ断層という設定が行われているが、京都府に影響がある断層がこれらの境界付近にあるため、どのような考え方で設定されているのか確認を行う必要がある。
- ・ 国から提示されている調査結果について、そのまま活用するのではなく、一度府で検証を行うこと。

(3) 計算条件の設定等について（資料3）

- ・ 計算領域について、資料3-3では標高20mの線に囲まれた谷底の中央でメッシュが途切れている。標高が低い地域については集落等が多いため、計算領域の設定については再度検討されたい。
- ・ 浸水想定図について、浸水深で色分けをしようと思うが、例えば津波高30cmで船舶に影響を与えることや、2mで木造建築物が破壊することなど、数字に意味を持たせて色分けを検討すると良い。

(4) その他

- ・ 井合委員を委員長代理として選任